

総合2026

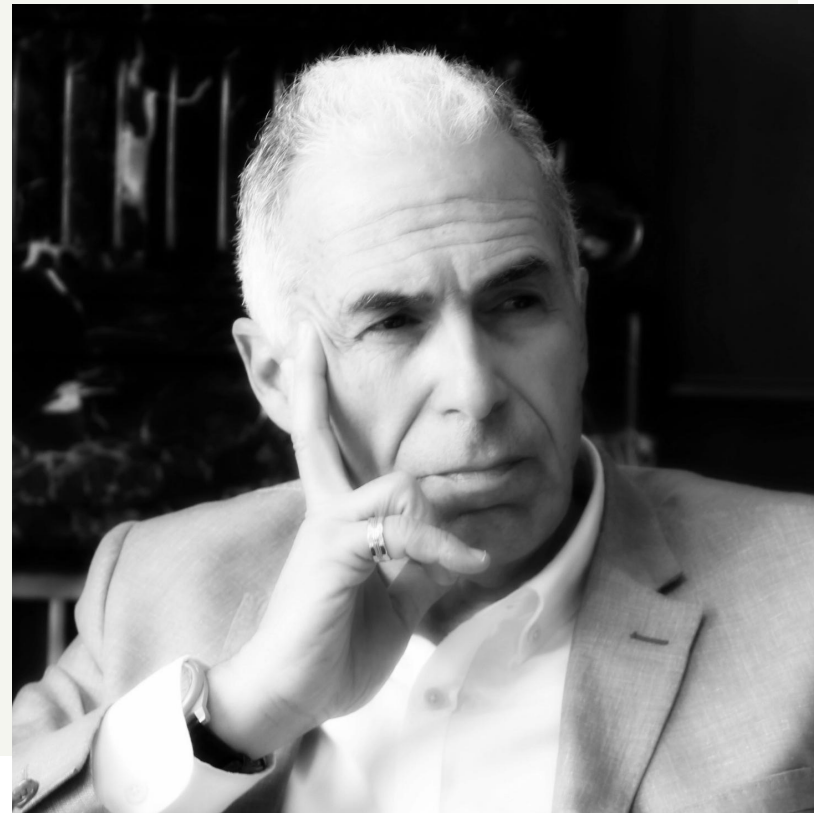
活動家宣言 <We act !>

～ギャップから始まる、私たちのアクション～

第1回 4月16日(木)13:00～14:30

How to Become a Film Director

「どうすれば、映画監督になれる？」



ロジャー・パルバース氏

Author, Film Director 作家、映画監督

会場：津田塾大学小平キャンパス特別教室

<講師プロフィール>

1944年アメリカ生まれ。作家/映画監督。ハーバード大学大学院ロシア地域研究所で修士号を取得。1967年初めて日本の土を踏む。大島渚監督作『戦場のメリークリスマス』の助監督。著書に、『旅する帽子 小説ラフカディオ・ハーン』（講談社）、『英語で読み解く賢治の世界』（岩波書店）、『もし、日本という国がなかったら』（角川ソフィア文庫）、『時の一針一針』（作品社）。第18回宮沢賢治賞、第19回野間文芸翻訳賞、第9回井上靖賞を受賞。2018年、旭日中綬章受章。

<担当スタッフより>

2026年度記念すべき最初の講演は、ロジャー・パルバースさんです！昨年度も本校で講演をしてくださり、自分とは何者なのか、アイデンティティについて考えることの出来る有意義な時間となりました。ところで皆さんは叶えたい夢や理想はありますか。叶える為に何をすべきかわからなくなったり、現実とのギャップに直面することもあるかもしれません。今回の講演で、現実から前に進むための一歩を踏み出すヒントを掴めるかもしれません。ロジャー・パルバースさんは、作家であると同時に、映画を生み出す映画監督でもあります。オーストラリアと日本を拠点に、いくつかの仕事や文化の間を行き来しながら作品を生み出していっています。今回なんと特別にこの講演でロジャー・パルバースさんが脚本・監督を手がけた、出来立ての映画を上映していただきます。大講義室の大きなスクリーンと音では是非お楽しみください！そして上映後、映画に出演された俳優の方々がステージに立ってお話をしてくださるかもしれません！ただ映像が流れているのを目で追うだけでなく、この作品が作られた背景、考えたいテーマや、人と人との言葉の掛け合いなど、皆さん自身で感じたり、考えたりしながら見てくださったら嬉しいです！